

(法第28条第1項関係様式例)

令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(NPO 法人 SDGs Association 熊本)

1 事業の成果

2021年(令和3年度)度事業目標

2021年度(令和3年度)は「SDGs アクティブラーニングプログラム」の運用実験、「多様性を活かしたソーシャルインパクトの実施に向けた研究と実験」を重点活動として位置け、学びに向けたシステムを完成させる。また、安定的な運営に向け、助成金の獲得の他、一般会員及び企業会員を増やす

昨年度同様、コロナ感染症の影響を受け多人数を対象とした事業開催を控えた一年となった。主催等での取り組みはできなかったが、若年層向けイベント等の後援や企画参加することにより、当法人が掲げる「誰ひとり取り残さない」環境づくりの一助となったことを感じる。また、熊本県地球温暖化防止推進センター事業に応募し、新たな活動展開に向けた挑戦を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業 内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
る 事業 いく、 なく、 未来の 世代の ニーズ を満た して 持続 可能 な社 会の 実現 に係 る	SDGs に関する ゲーム体験会 開催支援					
	SDGs アクテ ィブラーニン グプログラム 研究開発(ボ ランティアパ スポート作成 に関する検討 会開催)	2021年 10月2日 ～2022年 3月31日	オン ライ ン開 催	6人	熊本圏域の 小学生、中 学生、高校 生、大学生 などの若年 世代 多数	0円

○ボランティアを証明・承認するボランティアパスポートの作成に向けチームをつくり、記載事項及び体裁等についての検討を行った。次年度も引き続き協議を進め、形にしていく予定。



定款 の 事業 名	事業 内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象 者の範囲 及び人数	支出額 (千円)
アントレプレナー（社会課題等の解決に向けて自ら事業を起こす、起業家、企業家）の排出事業	教育機関等へのSDGsに関する出前セミナー開催支援					
	多様性を活かしたソーシャルインパクトの実施に向けた研究と実験（防災サバイバルキャンプ）	7月17日～ 7月18日	鍋松原海岸	2人	熊本県内の小学生及び保護者30人	0円
		1 0月9日～10 月10日	千畳河原		熊本県内の小学生及び保護者22人	0円
		1月29日～ 1月30日	飯田山自然公園		熊本県内の小学生及び保護者7人	0円
		3月26日～ 3月27日	千畳河原		熊本県内の小学生及び保護者2人	0円

多様性を活かしたソーシャルインパクトの実施に向けた研究と実験（第3回楽球甲子園）	7月11日	グランメッセ熊本	1人	熊本県内の障がいのある児童・生徒及び保護者70人	0円
多様性を活かしたソーシャルインパクトの実施に向けた研究と実験（ともしびプロジェクト）	3月10日	オモケンパーク	1人	熊本県内の成人8人	0円
多様性を活かしたソーシャルインパクトの実施に向けた研究と実験（CHRISTMAS MARKET KUMAMOTO）	12月6日～12月19日 12月9日～12月25日	花畑広場会場 熊本駅会場	3人	県内外多数	9,350円

- 一般社会法人 FUT&FIT 主催「防災サバイバルキャンプ」に共催し、防災に関する情報提供を行った。
- 一般社団法人 Arts and Sports for Everyone 主催、障がいのある人もそうでない人も一緒に楽しむ「第3回楽球甲子園」の後援を行った。
- クリスマスマーケット熊本実行委員会主催「CHRISTMAS MARKET KUMAMOTO」に参加し、クリスマス寄附コーナーの企画・運営を行った。
- ともしびプロジェクトくまもと主催「ともしび offgrid night 2022 in OMOKENPARK」への協力を行った

定款の 事業名	事業 内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出 額 (千 円)
的を達成するために必要な事業 この法人の目	SNS を活用した 当該団体および SDGs 等の情報発 信	4 月 1 日～ 3 月 31 日	WEB	3 人	県内外多数	0 円

令和3年度 活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(法人名 NPO法人 SDGs Association 熊本)

科目	金 額 (単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	110,000	
賛助会員受取会費		110,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	6,570	
施設等受入評価益		6,570
3 受取助成金等		
受取民間助成金	0	0
4 事業収益		
事業収益	0	0
5 その他収益		
受取利息	0	
雑収益	1,610	1,610
経常収益計		118,180
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当		
臨時雇賃金		
法定福利費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
旅費交通費		
通信運搬費		
印刷製本費		
消耗品費		
備品費		
水道光熱費		
地代家賃		
保険料		
会議費		
雑費		
その他経費計	9,350	
事業費計		9,350
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当		
役員報酬		
法定福利費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
旅費交通費		
通信運搬費		
印刷製本費		
消耗品費		
備品費		
水道光熱費		
地代家賃		
保険料		
会議費		
支払手数料	2,114	
その他経費計	3,914	
管理費計		3,914
経常費用計		13,264
当期経常増減額		104,916
III 経常外収益		
1 固定資産売却益		0
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
1 過年度損益修正損		0
経常外費用計		0
当期正味財産増減額		104,916
前期繰越正味財産額		8,820
次期繰越正味財産額		113,736

令和3年度 貸借対照表
令和4年3月31日現在

法人名 (NPO法人 SDGs Association 熊本)

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
普通預金(ゆうちょ銀行)	124,081		
現金	805		
.....			
流動資産合計		124,886	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の資産			
.....			
固定資産合計		0	
資産合計			124,886
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	11,150		
.....			
.....			
流動負債合計		11,150	
2 固定負債			
.....			
.....			
.....			
固定負債合計		0	
負債合計			11,150
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		8,820	
当期正味財産増減額		104,916	
正味財産合計			113,736
負債及び正味財産合計			124,886

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 「その他の事業」を実施している場合でも、貸借対照表の区分経理は省略することができる。区分経理を行なう場合はタイトルに〇〇年度「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあつては「その他の事業」会計貸借対照表と記載し、それぞれ区分して別葉として作成する。
- 3 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

計算書類の注記(令和 3年度)

法人名：(NPO法人SDGs Association 熊本)

- 重要な会計方針
計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1)固定資産の減価償却の方法

(2)施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

(3)ボランティアによる役務の提供

(4)消費税等の会計処理

2. 事業費の内訳

(単位：円)

科目	アントレプレナー輩出 事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	合計
(1) 人件費						
給料手当						0
臨時雇賃金						0
法定福利費						0
人件費計	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費						
旅費交通費						0
通信運搬費						0
印刷製本費						0
消耗品費	9,350					9,350
備品費						0
水道光熱費						0
地代家賃						0
保険料						0
会議費						0
雑費						0
その他経費計	9,350	0	0	0	0	9,350
合計	9,350	0	0	0	0	9,350

3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
合計	0	0	0	0	0	0

4. 借入金を増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計	0	0	0	0

令和3年度財産目録
令和4年3月31日現在

法人名(NPO法人 SDGs Association 熊本)

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 (現金手許有高)	805		
普通預金(ゆうちょ銀行)	124,081		
.....			
.....			
流動資産合計		124,886	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
.....			
(2)無形固定資産			
.....			
(3)投資その他の資産			
.....			
固定資産合計		0	
資産合計			124,886
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
未払金	11,150		
.....			
.....			
流動負債合計		11,150	
2 固定負債			
長期借入金			
退職給与引当金			
.....			
.....			
固定負債合計		0	
負債合計			11,150
正味財産			113,736

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 「その他の事業」を実施している場合でも、財産目録の区分経理は省略することができる。区分経理を行なう場合はタイトルに〇〇年度「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては「その他の事業」会計貸借対照表と記載し、それぞれ区分して別業として作成する。
- 3 前事業年度の末日現在における資産及び負債を記載する。